

表1 主要形質の調査結果（単播区 北農研）

		Karlu	ハルワカバ	備考
単播	越冬性	(1: 極不良-9: 極良)		
	1番草刈取時生育ステージ	(1番草)		
	1番草刈取日	(月/日)		
	3カ年合計乾物収量	(kg/a)		
	3年目/2年目収量比	(% AL)		
		3.5	4.6	北農研2-3年目平均
		開花始	開花始	北農研2-3年目平均
		6/19	6/19	北農研2-3年目平均
		258	265	
		116	93	
			パートス	ソア
			(抵抗性: 強)	(抵抗性: 弱)
パーティシリウム萎凋病				
抵抗性個体率（北農研）	(%)	87.5	92.4	67.5

表2 主要形質の調査結果（混播区）

		Karlu	ハルワカバ	備考
混播	黄花出現割合	(% 2番草)		
	1番草着花茎出現程度 ^{注2)}	(1: 無-9: 極多)		
	2番草草丈	(cm)		
	越冬性	(1: 極不良-9: 極良)		
	そばかす病罹病程度	(1: 無または極微-9: 甚)		
	葉枯れ性病害罹病程度	(1: 無または極微-9: 甚)		
	マメ科率 2年目	(%DM 1番草)		
		(%DM 2番草)		
	3年目	(%DM 1番草)		
		(%DM 2番草)		
	秋の被度	(% 3年目AL)		
	3年目/2年目収量比	(% AL)		
	3年目/2年目収量比	(% TYおよびAL)		
		62	0	北見2-3年目平均
		1.3	1.9	4場所2-3年目平均
		76	87	全場所2-3年目平均
		4.9	5.4	全場所2-3年目平均
		2.1	3.3	全場所2-3年目平均
		1.4	1.7	全場所2-3年目平均
		28	34	全場所平均
		50	60	全場所平均
		38	48	全場所平均
		58	71	全場所平均
		69	92	北農研、天北、北見平均
		107	101	北農研、天北、北見平均
		112	102	北農研、天北、北見平均

注1) 混播区はチモシー「ヘリオス」を供試、注2) 酪農、天北、北見、畜試の4場所

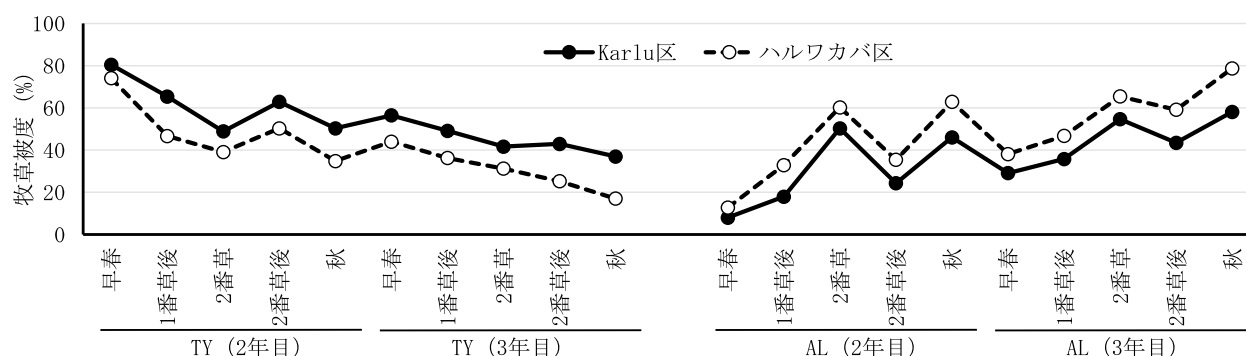


図1 混播区における牧草被度(%)の推移

注) 数値は全場所の平均値、時期によって調査値のない試験場所は除外して平均を算出

表3 混播区における3カ年合計の乾物収量 (kg/a) および対標準比 (%)

	Karlu区 (kg/a、 (%))			ハルワカバ区 (kg/a)		
	TY (比)	AL (比)	合計 (比)	TY	AL	合計
北農研	77.8 (125)	182.6 (88)	260.4 (96)	62.3	208.2	270.5
酪農	173.4 (111)	46.3 (79)	219.7 (102)	156.1	58.4	214.5
天北	79.9 (147)	96.3 (70)	176.2 (92)	54.3	136.7	191.0
北見	193.4 (130)	127.7 (72)	321.1 (98)	148.7	178.3	327.0
畜試	141.3 (101)	15.7 (63)	157.1 (95)	139.5	25.1	164.7
平均	133.2 (119)	93.7 (77)	226.9 (97)	112.2	121.3	233.5

詳しい内容については、次にお問い合わせ下さい。

道総研酪農試験場 草地研究部

飼料生産技術グループ 中村直樹

電話 0153-72-2842 FAX 0153-73-5329

E-mail nakamura-naoki@hro.or.jp